

親と子のリレーションシップほくりく2014 in いしかわ
子ども・若者の声に耳を傾けて



「親と子のリレーションシップほくりく」は、北陸三県の子どもの関わる団体のゆるやかなつながりを目指して、2011年に発足しました。年一回開かれてきた集会は、三県を一巡し、四年目の今年は再び石川での開催となります。

わたしたちが子ども支援の共通の土台としているのが、子どもの権利条約です。この条約は今年、批准20周年を迎えます。子どもの力を信じること、子どもの声を社会に生かすことが、大人にとっても住みよい社会を作ることになるという、条約の精神は、果たしてこの20年、どれだけ私達の社会に浸透したのでしょうか。むしろ、20年前、不登校の子どもたちが声をあげた息苦しさは、今は社会全体を覆っているとは言えないでしょうか。子どもを救い出すことが親を救うことになり、私達の社会を救い出すことになるという、各地の力強い実践は、きっと私達に多くの勇気と希望を与えてくれることと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

親と子のリレーションシップほくりく 代表 / 明橋大二

●分科会 10:00 ~ 12:00

No.	タイトル	きいてほしいこと。話しあいたいこと。
	アドバイザー (敬称略)	
1	子どもの権利ってなあに ～楽しく学ぼう～	ケンリってムズカシイ…? 「子どもの権利」ってどんなことでしょうか? 身近なことから子どもの権利を見つけ、子どももおとなも一緒に話し、楽しみながら考えていきましょう。これまでなんとなく考えていたことを意識し直すことで、“気づき”が生まれます。ひとりひとりが感じたことをみんなで増やしていく時間に行いたいと思います。
	東 雅宏 金沢大学 BBS 会	
2	立ち直れたきっかけって?	すべての人間は、幾つになってもつまづくもの。ましてや経験の少ない若い人は当然に。つまづいても、必ず成長していくもの。どんなことがきっかけで立ち直れたのでしょうか。豊富な事例の中で学び合いましょう!
	多田 元 (弁護士) 大貝 葵 (金沢大学)	
3	私の声を聴いて!	子どもの様々な SOS に親だけではなく、家族や地域も悩んでいます。不登校やひきこもり、ニートや発達障害など、「私ばかりがなぜこんな目に合うのか」と、暗中模索の日々が続きます。第3分科会では、専門家にアドバイスを頂きながら、「聴くこと」「話すこと」を大切に、そこから生まれる変化から解決への道を探ります。
	高 賢一 (星稜大学) 明橋 大二 (代表)	

*各分科会の定員は、それぞれ 50 名程度を予定しています。

参加申込書

●必要事項をご記入の上、下記までできるだけ事前にお申し込みください。

E-mail: rirehoku.ishikawa@gmail.com *なるべくメールでの申し込みをお願いします。

FAX : (076) 214-5680 (子ども夢フォーラム)

お名前	いずれかに○	大学生以下○	希望分科会 No.	お名前	いずれかに○	大学生以下○	希望分科会 No.
	福井 富山 石川 他				福井 富山 石川 他		
	福井 富山 石川 他				福井 富山 石川 他		

*分科会はお申し込み多数になった場合、変更していただくことがあります。

【託児希望記入欄】お子様も一緒に参加いただけます。

〈定員先着 10 名〉 1 人 300 円

託児をご希望の方は事前にお申し込み下さい。

時間帯：午前・午後(希望に○を)	託児希望人数()名
連絡先 TEL	年齢(、 、)歳